

第281回 謳粋会の記

令和6年3月14日(木) 18:30~

3月に入り寒暖差が大きく桜の開花予想日が早くなったり遅くなったりしている。今日は最高気温が15℃を超え日中は気持ちの良い晴天であったが、最低気温は3℃とまだ真冬日である。

今週月曜日に東日本大震災被災13年を迎えた。地震発生は2011年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0、最大震度7であった。死者・行方不明者は22,000人を超えた。建物の全半壊は40万6000戸、まだ3万人が避難生活をしている。

「能登半島地震」は3月1日、罹災後・二ヶ月を迎えた。石川県内で、241人が亡くなり、安否不明者15人、家屋被害75,410棟、避難者11,449人、断水18,340戸、停電570戸の状態である。仮設住宅の申し込みが7,971戸あり、3月までに4,600戸(現在3,522戸)の着工を目指している。これまでに完成したのは302戸に過ぎない。

3月の茨城県広報誌「ひばり」が「地震から命を守るために」を特集している。①持ち出し品の準備②避難場所の確認③住まいの地震対策、我々も確認してみよう。

今回のお店は長戸さんご推薦の茗荷谷にある「嘉ノ雅茗溪館」である。「春の美色パック」に飲み放題ドリンクをセットした。料理は全8品と豪華である。参加者は11名と少し寂しかったが、定刻に皆が揃った。長戸さんに乾杯の発声をお願いした。お店からサービス供されたシャンパンを片手に唱和した。



飲物は瓶ビール、赤白ワイン、サワーなどである。今日の料理名は難しい。私流でネットで調べ補足してみた。一品目「春のサラダ」は問題ない。二品目「真鯛のセミクルード セミドライマトとバジルのソース」セミクルードとは「半生状態」のこと。三品目は「スモークサーモンとクリームチーズ入りポテトサラダ」、四品目は「小エビとセロリラブのマリネ 生ハム添え」セロリラブとは「根セロリ」のこと。五品目は「骨付きソーセージとアスパラのソテー」、六品目は「桜エビとしらす 春キャベツのスパゲティ」、七品目は「牛サーロインのタリアータ 赤ワインソース」タリアータはイタリア語で「切った」という意味。最後は、ケーキ2種と珈琲であった。次々と料理が4名分一緒盛りで供された。私のテーブルは琴さんが取り分けてくれた。ビールを飲む人、ワインを飲む人、料理を黙々と食べる人。満足・満腹になった時、時計は20時30分を指していた。

参加者(敬称略・順不同)川俣・久松・後藤・長戸・山村・安井・小野・花上・桜井・永沼・廣瀬の11名

282回謳粋会は令和6年4月11日(木)に開催される。

<廣瀬記>